

## 2020 年:学習院大学の“傾向と対策”と総評

### ★学部別傾向(ヨコの傾向)★

文学部に論述 200 字×2 問以外に、学部的な特徴はありません。すべての学部において(論述を除き)、記述:選択=1:1 になっています。2016 年の国際社会学部も当初は戦後史の出題が中心となるかとの大学側のコメントもあっさり裏切られ、法・経済と変わらない出題内容・出題形式となりました(\*多少ではありますが、10%ほど戦後史が出題されていますが、難しくはないですね(\*\_\*;)。

ただ、大学全体としては、GMARCHの他大学と比べると、出題方法や出題形式が珍しいモノがあるため、過去問での慣れは必要となるでしょう。特に全体の25%を占める正誤問題に特色があるため、過去問演習は欠かせません。ただ、昨年・一昨年からのスライド出題も少なくないため、他学部3年分程度を正誤問題中心に解いておくのがベストでしょう。

### ★年度別傾向(タテの傾向)★

他のGMARCHより学部数が少ないため(4学部)、大問数は豊富ではありません。しかし、同じ単元や分野やテーマが出題されることが近年増えてきました(同年流行)が…中国史や文化史で小問数問。どちらかというところ…他学部に出題されたのと同じ国・同じ地域の他の時代が出題される傾向も見受けられますので注意。経済学部が 2/6、文学部が 2/9 の問題をチェックしておくことは、残りの法学部・国際社会学部の狙い撃ちに効果的と言えます。また、同一用語が答えになる時もあるので注意喚起!

\*学習院の速報はやっていないので、ネットや友達で学習院を受けた人から問題を借りることは良策!

### ★配点表★

経済学部	英 150	国 120	世 120	重要
文学部	英 150	国 150	世 100	軽視
法学部	英 150	国 100	世 100	普通
国際社会科学部	英 200	国 100	世 100	英語重視

## ★全体的に★

とにかく、正誤問題が厄介。全体の 25 点ほどにあたります。大きく点差が付くので、かなりのアウトプットが必要でしょう。この正誤は、用語の間違ひを見つけるもので、正しく書き換えねばなりません。つまり、一問一答を記述式でできる必要があり、又用語の間違ひ探しのテクニック(東西南北・王朝名・戦い名・条約名・法制名・世紀・人物などの間違ひが多い)を学ぶ必要があります。

用語 Level は決してハイレベルではありません。用語集の赤のみ(頻度④以上)で十分に7割越えは可能です。基本はやはり、国・民族・人物・戦乱・革命・法制が中心と言えるでしょう。経済学部・文学部は文化史、法学部・国際社会科学部は戦後史の構図はありますが、全体的に戦後史の出題は少なく、文化史の出題が多いので、文化史重視は否めません。これも、スライド出題を狙いましょう！

\* 受験学部の過去4年以内に出題されていない単元・分野・テーマで、

昨年・一昨年に他学部で出題されているモノは、今年の大いなる狙い目となります。

## ★学習院大学ナショナリズム★

### 【西洋史】

- ① ギリシア・ヘレニズム・ローマ時代(人物・戦争・文化)
- ② キリスト教史(ローマ時代・フランク王国との関係\*特にカール大帝・ローマ＝カトリックの盛衰・宗教改革と宗教戦争)
- ③ 西欧中世国家(英仏対立・百年戦争・レコンキスタ・神聖ローマ帝国史)
- ④ 西欧&東欧の絶対王政
- ⑤ フランス革命～ナポレオン時代～ウィーン体制崩壊
- ⑥ 19世紀のイギリスとアメリカ \*特に英の自由主義と米の南北戦争・米西戦争
- ⑦ ヴェルサイユ体制の成立とWW I 以後の欧米諸国の動向

### 【東洋史】

- ① 中国史の出題が高い(過去に受験する学部に出題されていない時代を狙う)

\*特に明・清・アヘン戦争～国共合作は多い

- ② 東南アジア王朝とイスラーム王朝の歴史

③インド・東南アジアの植民地化

④ティムール帝国・オスマン帝国・ムガル帝国

### 【文化史】

①ギリシア～ローマ文化

②中国文化史(特に諸子百家・唐・明清・儒学史が多い)

③17～18世紀の文化

④産業革命

⑤宗教関連史

### 【戦後史】

①冷戦を中心とする戦後有名事件とアメリカ大統領

②ヨーロッパ統合史と独仏関係

③朝鮮戦争・ベトナム戦争・中華人民共和国の建国などの戦後アジアの動乱

④人物と国と業績の組み合わせ

### 【各国史】

①ロシア史

②ドイツ史

③朝鮮半島史